第166号

発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館

毎月1回15日
定価1部5円

なかさと

5月1日現在	
人口	7,781(− 20)
男	3,857(− 19)
女	3,924(− 1)
世帯数	1,733(+ 12)

カッコ内は前月との比較

臨時村議会開く

一般会計補正予算 九百二十三万九千円

中里村税条例の一部改正

去る五月十二日午前九時より役場議場において、今年第二回臨時村議会が、会期一日の日程で開かれ、昭和四十五年度一般会計補正予算、中里村税条例の一部改正、専決処分事項の報告承認などについて、慎重に審議いづれも原案通り可決された。付議事件の主な内容は、次の通り。

◎予算関係

一般会計補正予算は、才入才出総額九百二十三万九千円の増額で、主なものは、才入においては、地方交付税百七十四万円これは地方交付税再算定分、国庫支出金四十一万九千円、これは、衆議院議員選挙費交付金、県支出金八万円、これは米生産調整事務費補助金　村債七百万円、これは、林道開設事業債、土倉倉下線改良事業債、積雪プル購入事業債、小出万年橋整備事業債、貝野小沢線道路、東田尻山手線道路改良事業債、農業用施設災害復旧債、御牛倉に貝野地区簡易水道事業債等である。

才出の面では、総務費七百四十一万九千円これは、財政調整基金積立金、衆議院議員選挙費御牛倉三十万円これは、簡易水道会計繰出金、農林水産業八万八千円これは、米生産調整貸金土木費百七万円は、除雪プル借上料他予備費三十三万二千円等である。

▽昭和四十四年度中里村国民健康保険特別会計補正予算

既定の事業勘定の才入才出予算の総額に才入才出それぞれ、三十三万五千円（これは特別療養給付費補助金で、療養給付費である）を追加、施設勘定の才入才出予算に才入才出それぞれ十万円（これは碑地診療所運営費補助金で、一般管理費である）を追加し才入才出予算の総額をそれぞれ千百六十一万円と定めた専決処分を報告し承認された。

◎昭和四十四年度中里村農業共済事業特別会計補正予算の専決処分事項の報告承認がなされた。

◎中里村税条例一部改正内容の概要は、次の通りである。

▽土地に対する固定資産税について

納税についてはいつもご協力をいただき感謝に堪えません。

土地についての固定資産税制改正において、宅地等においては税負担の激変を緩和しつつ、新評価に伴う税負担の均衡化をはかることとされ、評価格の上昇の程度に応じ毎年度、前年度の税負担の一・一乃至一・三の税負担を求める。とによって、暫進的に新評価格、昭和三十九年度評価格に近づけていくこととされた。又農地にあっては評価格の上昇の程度を考慮しながら当分の間、昭和三十八年度の税負担を限度とする措置を継続することとされました。（実質的には税負担変りなし）、尚昭和四十五基準年度評価替えに当っては、昭和三十九基準年度の評価格を基準に状況類似地区数を増加して、不均衡是正をはかりながら評価替えを行なったものであるが、この評価格対、昭和三十八年度評価格または宅地等基準価格に対する上昇が、二十五倍以上であるものについての、負担調整率を一・四にする改正がなされたのみで、他は現行の仕組みがそのまま踏襲されることとなり、昭和四十五年度評価替えも、これに伴う税負担の激度を考慮しながら、この均衡化をはかる税制改正である。

農繁期を無事にすごしましょう

—田沢・倉俣駐在所—

農家のみなさんにとって、多忙な時期がやってきました。毎年、このころになると、幼いこどもの水死事故、あき巣の被害農薬事故などが多く発生するようになります。忙しい中にも次のことにじゅうぶん注意しましょう。

◇幼児の水死が大半を占める
—幼児の水死事故防止—

昨年、四～五月の二ヶ月間に起きた水の犠牲者は、県下で三十人となっています。そしてこのうち幼いこどもの水死は、二十三人と全体の六十五パーセントにもなっています。原因は保護者の「チョット」したゆだんから起きています。幼いこどもの水死をなくすため、

- 子守りには、しっかりした人をつけ幼い子の行動にはたえず注意する。
- 家のまわりにあるみそ、井戸、用水などには「フタ」や「サク」をする。

などして、事故の防止につとめて下さい。

◇あき巣はあなたの家をねらっている
—あき巣を防ぐ戸締りのたのみあい—

農繁期になると
「昼間は家が留すになる」
「夜は疲れてグッスリ寝る」
などのため、あき巣とか忍び込みの被害が多くなります。この被害から身を守るために、次のことに注意して下さい。

- 留守にする時は、必ず家中の戸締りを完全にする。
- 留守にする時は、隣りに一声お願いして見回りをたのむ。
- 大金は農協や銀行にあづけ、通帳や印鑑などは別々にしまっておく。
- 夜寝る前は戸締を確かめ、外は明るく、家の中は暗くするようにくふうする。
- 農村地帯の酒屋とか、たばこ屋をねらうどろぼうがいるので防犯ベルなどつけて用心する。

◇命を奪う恐しい薬
—農薬の適正な保管、管理—

農薬を使う場合　うっかりすると中毒や、公害などの問題がおきがちです。次のことに注意しましょう。

- 特定毒物になっている農薬は個人で散布したり、保管したりしない。
- 特定毒物になっていない農薬であっても、カギのかかるしっかりしたところに保管する。
- 農薬のあきビン、あき袋などは、土の中に深く埋めるなどしまつをよくする。
- 残った農薬などは、こども達が間違って飲んだり、自殺のために使われないよう保管を厳重にする。

みんなで身につけよう
正しい交通マナー

◇社会の幸福はあなたのハンドルにかかっている

日本文化を見直せ

斉藤大馨

自分の立っている歴史的、民族的、宿業の場を忘れて、世界の平和を論じたところで、観念のからまわりになる。どこの国民だかわからないような「国籍不明」の発言が、あまりにも多い。三十日や四十日、欧米を視察しただけで、もう欧米一辺倒になっている。わずか一ヵ月ほど、中共をまわって来ただけで「日本はだめだ」と、メタンガスをまき散らす。

私どもは敗戦の虚脱状態から起ちあがり、文化国家の建設を目ざして、経済復興にめざましい努力をして来た。さいわい西ドイツをしのぐほどの、復興をみたことは、喜ばしい。文化国家の内容は、軍備のない平和国家と「ゆりかごから墓場まで」の一社会保障のゆき届いた、福祉国家の建設にある。

ひと口に文化国家といっても日本の固有の文化がわからないようでは、スローガンにもならない。自分の立ってもって立つ場が、ハッキリしないから、海外旅行すると、よその花は紅いということになる。

大和民族は、きのうやきょうの民族ではない。悠遠の歴史の上にささえられているのだ。日本には日本の固有文化がある。若い世代の多くは、欧米の文化については、比較的知っているが、祖国のことについてはほとんど関心を示していない。

もちろん、この弊害は、敗戦後学校で国史を教えていないことにもよる。上代の神話なんかは教える先生さえ、ナンセンスだと思っているにちがいない。

しかし真実そのものは、神話の形式をかりる以外に、表現のしようがない。神話が史実以上に深い感銘を与えるのもここにある。天照大神の神徳をあまねく、八百よろずの神々が上代をおさめた。鎮守の森では、五穀の豊穣をことほぐ「おかぐら」があげられた。分別未分の神人和楽の生活である。

その後千三百年程前に聖徳太子が、仏教を受け入れてから日本の文化はさらに高度な発展をした。「和をもって尊しとなす」の十七条憲法がそれである。万物を育成する大照大神の神徳やわらぎは、大日如来の大慈悲心と不二一体になり、精神文化の基盤になっている。

ことばをかえると、日本文化の多くは、聖徳太子の遺産である。太子は一切衆生のなかに平等の仏性を見られた。仏性とは覚者とか、めざめた人とか、まどろかなるさとりといってもよい。万物の本性を、仏性と見る。智恵である。智恵がないから我執にとらわれて、闘争ばかりをくりかえしている。あれをあれと思うところに、仏心は大慈悲の法輪が転ぜられる。

自分のうちに他があり、他のことである。さらに福祉国家のなかに自分がある。差別の相はそれぞれの業縁によってちがうが、ちがうがままに本性は一如である。三界はわが有なり、その中の衆生はわが子なり、の自内証ともなる。いわば「まどらかな徳」で、それには「ともに凡夫」の自覚がなくてはならぬ。

日本文化をささえているのはこの「大和の精神」である。正に正義をおしつけるのではない。二歩も三歩も引きさがって「ともに凡夫」の自覚に徹する。平和運動のあり方も、相手は「ごとかに我執がついてまわる」と呼ぶところに、正義だ、正義だ、と呼ぶところに、我執がついてまわり合ってゆかないと、感謝どころか却って不平不満の源泉になる。

お知らせ

消防設備士試験について

消防用設備等を完備することによって、火災を早期に発見し損害を最少限にとどめることを目的とし消防設備士制度が昭和四十一年に設けられ、同年十月一日から消防設備士の資格がないと消防用設備等の工事や整備ができなくなりました。この消防設備士の資格には、甲種と乙種の二種があり、甲種は工事及び整備を、乙種は整備を行なうことが出来ます。また消防用設備等の種類によって、甲種は第一類から第五類まで、乙種は第一類から第七類までに区分されており、それぞれ試験によって資格が与えられます。試験内容及び受験手続についての詳細は役場消防係にお聞き下さい。

◎危険物取扱主任者試験
期日昭和四十五年六月十四日（日）試験地は、新潟市、長岡市、高田市、新津市、新発田市で行なわれ、試験の種類は甲種、乙種・受験願書受付期間は、五月一日から五月三十日まで。受験資格、その他の詳細については県庁内消防防災課、消防署、市町村役場に問い合せ下さい。

中里村御芳志録

◎東京都江戸川区二の五郷友睦会代表
一金五千円也　山本松三郎殿

◎東京都墨田区八広二丁目五十の十一
一金弐千円也　渡辺　政雄殿

◎横浜市神奈川区三ツ沢中町八
一金弐千円也　勝田　宙二殿

人生往来

◎産生

氏名	父の名	部落名
鈴木名穂子	恒夫	重地
大口　美和	哲男	重地
保坂美奈子	安治	宮中
保坂　良夫	幸吾	宇沢
小巻沢友枝	富平	通り山
渡辺三千代	輝政	宮中
高橋　由紀	満雄	倉俣
広田　靖子	深	田中
中島　智子	清一	本屋敷
根岸　明美	正平	宇川

◎婚姻

〈新郎〉	山本　末治(さ)	上山	
〈新婦〉	村山　ミイ(さ)	田中	
〈新郎〉	吉乗　学(さ)	宮中	
〈新婦〉	吉乗　チヨ(さ)	上山	
〈新郎〉	遠藤　忠正(さ)	長岡市	
〈新婦〉	村山　ムツ(さ)	田沢	
〈新郎〉	利明(さ)	小原	
〈新婦〉	風巻　京子(さ)	準南町	

◎昇天

氏名	年令	部落名
南雲　栄作	(七五)	堀之内
鈴木　勇	(七四)	重地
中島ミサヲ	(六三)	堀之内
南雲　武平	(七七)	本屋敷
山田　信義	(七八)	東田尻

(三面よりつゞき)

孤独守る葉桜遇河の灯に映えて　未知

外灯に蕗の広がる桜かな　大泉

落花舞い人も舞い居り紙座敷　玉泉

満開の桜残して去り難し　キクノ

志きむしろ家内掃ふて花みかな　時習

憶々 樋口順之君

土地改良主任急逝

土地改良区事務主任樋口順之氏は、五月十四日執務中突如として職場におれ、意識不明のまま、僅かそれより三時間後事務所において不帰の人となった。

氏は田沢村農会職員として、軍隊、終戦とともに復員しまもなく桔梗原土地改良区職員として、請れ四十一年より、清津川土地改良区主任と兼ね、この道一筋に日々精根今日に至る。したがって村の人には土地改良の順之さんで誰からも気安く信頼されていた。人に接しては和をもってひかい、よき相談相手となり後進に対しては愛をもって導く温情にあふれ、又親く職場及び仕事を愛し、仕事にあたっては寝食を忘れ時間を超越して勉励された温容で責任観念の強い人柄は内外の信望を一身にあつめ敬慕されていた。

碁を楽しみ俱楽部の定評があり自分の陣営をつくり、相手を攻める岡昌共がケヤリを入れてもヤアヤアと観戦者を楽しませていた。又消防人として二十年村の副団長としての職にあったが、水火災有事に際しては、きぜんとして難におもむき、よく災害の防止につとめ社会公共のためにつくされた。

昭和三十年新生中里村に若者の声を村政にと、村議会議員となり、青年議員として大いに活躍した。氏の急逝は村として、あたら人間を失なったことの一語につきよう。

しかし四十三才の生涯は残念というより余りにも早すぎた。清津川右岸段丘パイロットの大事業を中核にし、しかも米の生産調整からきた減田抑制という最大の難関にあって氏に対し、期待が大きかった丈に惜しみても惜しみても余りあるものがある。

氏として無念であろう。この人を失った土地改良区の業務はしばらく容易からぬものが察せられるが、氏の日頃とよく愛し死を賭した職場、そして情熱は役職員に受けつがれ立派な事業として初期の計画通り完成され、運営がなされていくであろう。行年四十三才の働き盛りに急逝された故人の魂につつしんで哀悼の意を表する。

【写真はありし日の樋口さん】

農業振興地域の指定について

この地域指定は村の農業振興をはかるため農用地区域、およびその区域内の土地について、農業上の用途区分を定め、各々用途区分に応じたところの、整備計画を樹てるために行なうもので、既成市街地（宅地）や市街化地予定地（宅地に隣接する農地等）は除かれます。

またこの指定を受けますと、次の利点があります。

一、国の補助事業や融資事業が集中的に行なわれる。

二、税制上の優遇措置がとられます。

三、国有財産の利用が促進される。

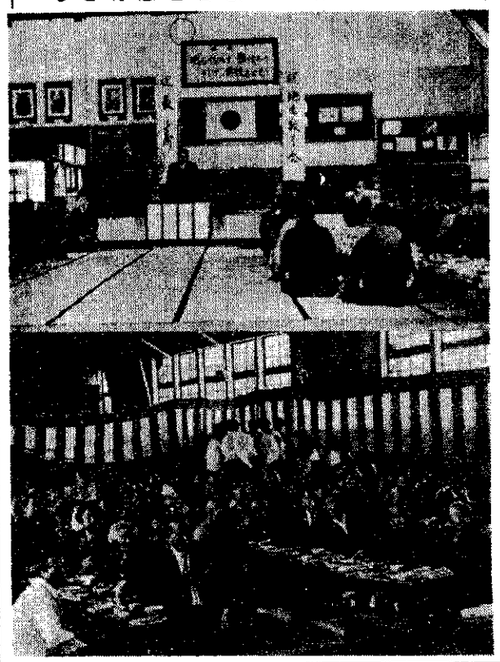
四、生活環境施設の整備が促進される、等であります。

村ではこの内容を五月十日から三十日間縦覧します。この指定について異議ある方は縦覧の終った翌日から十五日の間に異議の申立ができることになっています。詳しく知りたい方は産業課に問い合わせて下さい。

中里村敬老会終了する

中里村は九月十五日の、敬老の日を待たづして、例年通り本年も五月の連休を中心に、全村大地区に別れ実施された。

昭和四十一年から、従来の「老人の日」はその名称を一敬老の日」と改めて、国民の祝日に加えられましたが、このことは老人福祉のためにきわめて意義深いことといえます。中里村では本年八十八才の米寿表彰を受けられた方が四名でございました。



印紙税の書式表示による納付について

印紙税の納付は、課税対象となる印紙をはって消印する方法が原則ですが、課税対象となる文書であっても商品券、有価証券の譲渡契約書、受取書等、毎月継続して多量に発行する場合は、いちいち印紙をはって消印する手数を省略するために、税務署長の承認を受けて、あらかじめこれらの課税文書に一定の書式を印刷しておき作成使用した枚数に応じて後日一括して申告納税する方法がありますのでご利用ください。なおご不明の点は、簡税課までご聞合せください。

（十日町税務署）

野球部員募集

体協野球部では、部員を募集している。チームの登録は以前に実施してあるが、今回は選手を大勢集めて、強力なチームを結成したい。すでにオール中里（名称、ファルコンズ）として数多くの対外試合に参加しているが、今年はさらに強化して、上位大会に進出したい。問い合せ申し込み先は、公民館（TEL一一八）か部長桑原秀一（TEL七五）に連絡下さい。

商業統計調査の実施について

統計係

商業統計調査は昭和二十七年以降、指定統計調査として二年ごとに通商産業省で実施されてきましたが、本年は第十回目の実施年にあたり六月一日現在で実施されることになりました。

ご承知のとおり、この調査は商業を営む全国の商店の分布状況や商業活動などの実態を明らかにすることを目的とした調査であり、商業部門の近代化、合理化が強く唱えられ商業政策の確立が急務となっている折から政策立案の基礎的資料として、この調査のもつ使命はきわめて大きなものがあります。

この調査にあたっては、県知事によって任命された調査員が各商店に伺って調査票の記入をお願いしますので、調査票の記入提出についてよろしくご協力下さるようお願いします。

配当金領収書、株券出資証券特定の日に多量に発行する場合には、税務署長の承認を受けて、あらかじめこれらの課税文書に一定の書式を印刷しておき作成使用した枚数に応じて後日一括して申告納税する方法がありますのでご利用ください。なおご不明の点は、簡税課までご聞合せください。

（十日町税務署）

「ヤミ酒」を一掃しましょう

税務課

酒類の密造は、各位の良識と広報活動とにより漸次減少しつつありますが、なお山間地における清酒の密造や、市街地等でのブドウ酒等果実酒の密造は一部で習慣となってあと絶たない現状にあります。酒類の密造が健康に、又社会生活に及ぼす悪影響を思い合せてその一掃にご協力ください。

密造酒、心と体のいたむ酒

〈中学生標語募集作品〉

自分の「ゴミ」は自分で始末しましょう

郷土の人

石沢善重郎氏

石沢善重郎氏は田沢本村出身の人、現在横浜市に在住、東亜燃料監査役、日綱石油会長として石油業界に厳然として君臨している。

昨年春の叙勲で勲三等瑞宝章を受賞その聞紺授、監授褒章を受けること四回、郷土出身の偉大なる人物であることは、知る人ぞ知るところ。

石沢さんは若い時代非常な苦労を重ねられた由、そのためなんとか自立できたら教育だけは金持ちとか優秀な人たちだけが受けられるというのではなく、勉学の意気ある人はすべて、機会を与えてあげられる世にしたいというのが念願であったと語っている。「人間づくり」ということは石沢さんよりはじめてきかされた。自分が越後の山奥に生まれ社会に出て苦斗の中から痛感されて言われたものと受けとめたい。そして「人間づくり」は幼児から」と村に保育所や遊園施設を寄贈され、今日の幼児教育の進展に大いに貢献して下さいました。しかし石沢さんは自分が名前とか写真で公表されることが大嫌いの方で真の関係者以外は深く知らない。

今年三月恐縮に余寒お見舞をいただいた。その中で私も一つづつしかとらない年令ですが積りつもって七十才も過ぎ石油の仕事にたづさわって五十年、想えばながい道でした。この間煙草も吸わず茶盃酒一杯飲まず、生物的な遊びにも浸らず健康で常に心して律かの貯蓄に努め、子供等もみんな一人前になり七人の孫も元気で育っていることが何より嬉しい。つらい才月であったがここまでようやくたどりついたのでこの道五十年を記念し虎の子の私財三億余円を寄附し財団法人石沢奨学会を創立働き乍ら定時制高校に学ぶ勤労青少年の勉学のお手伝いをしていきたいと念願している。という ものであった。

◎教育は機会均等であるべき、その後「私の小さい善意が大勢の方々から言こんで戴いたことについて襟を正してお礼を申し上げたい。学問はよく出来る人にのみ授けるべきものでなく経済的に恵まれなく共、勉学の意気のある人にはすべて機会を与えてあげられる世の中にしたい教育は機会均等でなければいけない。

◎この奨学会の対象は定時制高校に限った。なぜというに、今は高校を出なければ大学には進めない、又若と違い子供が是非高校へ行きたいといえば経済的に多少の余裕があれば無理をしても進学させることができる。その無理のできない家庭の子供が止むを得ず昼間働き夜学校にいく。いまの時代は夜間の高校に通うより大学へ通うほうがずっと楽なことで大学はアルバイトをしどうでもいけるが、定時制となると、十七、八才の少年だから昼間働き夜学校に通うことは大変である。

それに大学はたくさんの貸与制度もある。又定時制は全日制にくらべ施設が貧弱である、そこで学資金の援助だけでなく、校舎の施設助成、図書の寄贈先生方の研究会への助成も含むことにしている。

◎学資金は給与

この石沢奨学会は不特定多数の人を対象とし学資金は貸与でなく一切給与とされている。これは石沢さんの意志として「国の金なら返さなかったからといって個人をうらむこともなかろうが、個人の奨学会であってみれば、あいつ金を返さなかったなどとうらみ言をいうかもしれない。そんなことなら初めから金は給与にするということにしたほうがよい」とのことからという。なお次の機会には資金の増大に努め一般大学へ働き乍ら通学する人達にも出来るだけお手伝いしてあげたいと計画を進めています。また高校から直接社会に出て働く人のためには更に別に協力してやれる機関を創設してあげたいと思っています」という。

◎奨学会の名称

はじめ奨学会をつくろうと考えたとき名称に石沢という名前はいれずどこの誰がやっているのか分らないように、ボカシてお互い気をつかうことのないようにと考えたのだが、文部省方面から名前を出して責任の所在を明確にし、いわゆるヒモ付奨学会でないというように、はっきりわかるようにしてくれということからである。

そして石沢さんは、「今は後進に社長の席もゆずりました。五十年かけて築いた財産も多くの恵まれない青少年たちに役立てもらいたい」と、功なった苦労人のすばらしい一言で結ばれていた。

おかあさんありがとう

小二年 たきざわはるみ

五月十日母の日

わたしは、おかあさんに「ねえおかあさんがわたしくらいのときに、母の日という日が、あったの？」ときいてみたら「そんないい日はなかったよ」といいました。「でもいまはおかあさんの日があってうれしいな あ」といいました。

わたしが「どうして」ときいてみたら、おかあさんは、「はるみにおかあさんありがとうといわれるのがうれしいから」とにこにこしながらいいました。わたしはおかあさんのかおを見たとき「もっとすなおないいこになって、おかあさんをよろこばしてやろう」そうおもいました。わたしのおかあさんは毎日はたおりをしています。きょうもまたきょうもいっしょうけんめいにしています。

わたしは学校からかえってから、おかあさんのはたらいているすがたを、大きなすが紙いっぱいにかいてみようと心にきめました。できあがったらおかあさんにプレゼントします。きっとよろこんでもらえると思います。わたしはおかあさんにこんなことをきいてみました。「ねえ毎日おなじしごとばっかりやっていやにならない？」といったら「うんおもしろいよ。おかあさんがはたおりをしているうちに、おまいたちは毎日べんきょうしたり元気にあそんだり、大きくなったりするのでいやにならないよ」といいました。

わたしは「おかあさんはえらいな」と思いました。わたしもおかあさんのようにあきずに、べんきょうしたりおてつだいしたりがんばりたいとおもいます。二年生のかがくのふろくにチューリップのきゅうこんがついてきたので、おかあさんと二人で、きょ年の十一月はちの中に一コづつ三ばちうえてやりました。冬うちはなるべくあたたかいところにおいて、水を十日に一どぐらいづつやりましたら二月の二十日ごろ大きなめがでてきましたので、こんどは水を三日に一どづつくれました。そしたらどんどん大きくなり、おかあさんと、とてもたいせつにしながらそだてていきました。

わたしはなに色の花がさくかとかけをしました。花のさくのをとてもたのしみにまっていました。わたしは、赤です。おかあさんはきいろです。そして五月にちかづくころからだんだんつぼみが赤くなり、五月二日ごろまっかの大きなきれいなはながぜんぶさきました。おかあさんと二人できれいにさいた花を見ながら「よかったね、さむい冬うちかわいがってきたので、こんなきれいな花がさいてくれたんだよ」とはなしました。かけをしてわたしがかちましたので、五日のこどもの日に、みやなかのいんでいに花みにおかあさんからつれていってもらいました。しゃしんもいっぱいとってもらいました。とてもたのしくすごしてきました。おかあさんありがとう。

中里文芸

五月観桜句会

梅人

惜しまるる桜に春の風かな

露丘

夜の桜酔ひいておどりし妻有唄

梢陽

散る花に水の放浪ささやけり

開史

天地人おだやかにあれ花三日

悦夫

ハモニカに含みし饗え夜の桜

涼子

灯にさざめく水の旅愁よ花は葉

おのえ

ダム守りの石仏二体葉桜に

春柳

夜桜や幼な馴染と更す

栄山

花の酒おどりの兄は父に似て

由記

記念樹の片枝悲し八重桜

（四面につづく）